

城に酔い・栴に酔う 街歩きしませんか

栴の絶景・ガイドと姫路城の東西南北を巡る

①-1 世界文化遺産・姫路城 <姫路城公式サイト>



姫路城は、JR 姫路駅から北へ約 1km、市の中心部の小高い丘「姫山」(標高 45.6m)に聳えています。姫路城は、奇跡的に大空襲を免れ、往時の姿を今に残しています。現在、国宝に 8 棟、重要文化財に 74 棟指定され、平成 5 年 12 月(1993)、日本で初めて世界文化遺産に登録され名実とも日本一の名城となりました。

①-2 西国将軍・池田輝政 <姫路ぶらぶら>

今日の姫路城を築いたのは池田輝政です。慶長 5 年(1600)の関ヶ原の戦いで、東軍の将として参陣し岐阜城攻め等の功により、家康から播磨国 52 万石を拝領しました。そして、慶長 8 年(1603)には輝政の次男・忠継(たけつぐ・家康の孫)に備前国約 28 万石、慶長 15 年(1610)には三男・忠雄(たけお)に淡路洲本 6 万石が与えられ、池田家は合計 86 万石の大大名となり「西国将軍」と呼ばれた。



①-3 姫路城の広さ <姫路ぶらぶら>

姫路城の「内曲輪(うちまがひ)」は、東西 456m、南北 547m、面積約 23ha(甲子園球場の約 5.6 倍)です。しかし、本来の姫路城は、船場川から外濠川までの東西 1.56km、姫路駅前から野里堀留町までの南北約 1.7 km を言い、その総面積は約 234ha(甲子園球場の約 58 倍)にも及びます。

①-4 本町 68 番地 <姫路ぶらぶら>

「中曲輪」内の「本町 68 番地」は、甲子園球場の 24 倍に相当する約 107ha の広さがあります。皇居に次いで日本で 2 番目に広い番地です。当時は殆ど陸軍の施設だったため、何の問題もありませんでした。

② イーグレひめじ <お城本町地区市街地再開発>

城に向かって、姫路城石垣に見立てた長さ 100m 及ぶ総ガラス張りの建物。建物内部の至る所で城の眺めを意識して設計されています。とくに、屋上からの姫路城の眺望は絶景です。

③ 桜門橋 <姫路ぶらぶら>

平成 19 年(2007)、発掘調査で出土した遺構を活かし、江戸時代の本橋をイメージした新たな「桜門橋」が架けられました。桜門橋は万一の姫路城の火災に備え頑丈な鉄骨造りです。

④ ぼたん園は「本城」の跡 <姫路ぶらぶら>

「三の丸」の「現千姫ぼたん園」の地に、21 代城主・本多忠政は、元和 4 年(1618)、自らの居館を築きました。



⑤ 官兵衛ゆかりの石垣 <姫路市「文化財をたずねて」>

当時の姫路城は、ごく小規模な砦のようなものでした。三木城落城後、秀吉は姫路城を本拠に定

⑥ 秀吉時代の大手口 <姫路ぶらぶら>

天正 8 年(1580)から羽柴秀吉が姫路城を修築した。秀吉時代の姫



吉時代)のものと思われる野面積み(ノダラヅミ)の石垣が上山里下段(官兵衛ゆかりの石垣)に残っています。



たと言われています。

⑦ 姫路神社 <姫路ぶらぶら>

「姫路神社」は、明治12年(1879)、酒井家の祖・酒井正親公(マカウ)を御祭神として創祀(ツク)されました。また、本殿左手にある「寸翁(スンウ)神社」は、姫路藩の財政再建に功績のあった酒井家の家老・河合道臣(ワカミチ)を顕彰するため、昭和32年(1957)に創祀されました。



⑧ 喜斎門 <姫路ぶらぶら>

姫路城の搦手を守る「喜斎門(キサイノ)」は、現在、石垣のみとなっていますが、江戸時代には「櫓門(ヤヅメノ)」でした。門前の屈曲した土橋まで攻め寄せた敵に対し、櫓門や三方の土塀の「狭間(ヤマ)」から鉄砲や弓で迎撃する守りとなっていました。



⑨ 「美術館」・陸軍の兵器庫跡 <姫路ぶらぶら>

赤レンガ造りの建物は、明治時代に陸軍の兵器庫・被服庫として建てられたもの。その後、姫路市役所の庁舎として使われました。昭和58年(1983)、「姫路市立美術館」として生まれ変わり、現在、国登録有形文化財に指定されています。



⑩ 野里門跡 <姫路市Webマップ>

池田輝政は、野里村の西部を「野里」とし、東部を「野里村」のままにした。野里村西部の門は、野里と姫路城の武家屋敷との間に設けられた出入口に当たることから「野里門」と名付けた。



⑪ 清水門・鶯の清水 <姫路市「文化財をたずねて」>

清水門は、天守閣の北西にあり中曲輪に設けられた城門です。昭和63年(1988)、発掘調査で枳形遺構の東南部に、17世紀以降の石組み・幕末の井戸枠の木組をもつ井戸が発見された。この井戸は、戦国時代に赤松義村の定めたという播磨十水の一つ「鶯の清水(トリノシミズ)」であると推定されます。現在、井戸まわりの礎石から推定した覆屋(材代)が復元されています。



⑫-1 船場川 <姫路市「文化財をたずねて」>

元和年中(1615~1624)、姫路藩主・本多忠政は、旧二股川を改修して船場川としました。さらに、船場川舟運を開いて、米・木綿・薪・炭・鯛(イシ)・塩など、城下~節磨津間を高瀬舟で運べるようになりました。

⑫-2 船場川改修記念碑 <姫路市「文化財をたずねて」>

記念碑は長い間川底に埋もれていたもので文字が全く読めませんが、江戸時代、船場川改修を記念して建てられた碑とされます。



⑬ 好古園 <姫路ぶらぶら>

「好古園(ココエン)」は、平成4年(1992)に開園した池泉回遊式(テカイウシキ)の日本庭園で、江戸時代末期、この前に藩校「好古堂」があったことから、その名が付けられました。園内には、昭和60年(1985)頃の発掘調査をもとに武家町の町割りを再現しており、「築山池泉(ツキヤマチノ)」の庭や「夏木の庭」など、趣きの異なる9つの日本庭園を配置しています。「茶の庭」には裏千家第15代家元・千玄室(セグヅク)氏の設計・監修により建てられた本格的な茶室「双樹庵(フタツノヤシ)」があります。なお「御屋敷の庭」の辺りには、本多忠政が造営した「西御屋敷」と呼ばれる下屋敷があったようです。



城に酔い・桜に酔う 街歩きしませんか
 桜の絶景・ガイドと姫路城の東西南北を巡る



姫路城 内濠・中濠めぐり



JRあれあひハイキング・行程表 <目安>

(集合・出欠確認・挨拶)

到着時間 → 9:30		10:00	10:13	10:18	10:27
姫路駅	徒歩時間 (20)	イーグル 屋上 (6)	桜門 大手門 (1)	世界遺産 石碑前 (2)	武蔵野御殿前 階段中央 (2)
出発時間 → (スタート時間) 9:40 <10> (挨拶時間3分含む)		10:07 <7> (写真撮影3分含む)	10:17 <4> (写真撮影・なし)	10:25 <7> (写真撮影3分含む)	10:29 <2> (写真撮影のみ・2分)

到着時間 → 10:31		10:40	10:48	10:56	11:10
千姫 ぼたん園中央	徒歩時間 (2)	女坂 (3)	官兵衛ゆかり の石垣 (5)	姫路神社 溪スタート地点 (2)	喜斎門 (4)
出発時間 → 10:38 <7> (写真撮影3分含む)		10:45 <5> (写真撮影3分含む)	10:51 <3> (写真撮影・なし)	11:03 <7> (写真撮影2分含む)	11:13 <3> (写真撮影1分含む)

到着時間 → 11:17		11:29	11:46	11:54	12:07
市立美術館	徒歩時間 (7)	野里門 (15)	やまかけ橋 (6)	清水門 (10)	一之橋門 (4)
出発時間 → 11:22 <5> (写真撮影2分含む)		11:31 <2> (写真撮影・なし)	11:48 <2> (写真撮影のみ・2分)	11:57 <3> (写真撮影・なし)	12:09 <2> (写真撮影・なし)

到着時間 → 12:13		12:17	
好古園東	徒歩時間 (2)	好古園 好古堂	<目安>
出発時間 → 12:15 <2> (写真撮影のみ・2分)		12:25 <8> (挨拶時間3分含む)	12:25 (解散)